

道の駅経営状況等報告

これからの道の駅を **考える**

多古町議会では、道の駅多古あじさい館の営業報告を毎年6月定例会で受けています。

今年は、社長と支配人を招致し、詳細な経営・経理の状況を聞き、道の駅の現状とこれからについて伺うことができました。主な質疑の要約等をお伝えします。



安心安全を第一に

台風、新型コロナウイルスの影響は

菅澤博隆議員 昨年9月の台風、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、並木社長 台風の影響で売り上げは落ちましたが、桜の木のライトアップや桜が例年より良く咲いたことで前年と同じくらいまで売り上げが戻りました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、臨時休業したことやあじさい祭り中止などにより、売り上げは落ちましたが、お客様の安全を第一に考え、売り上げ度外視で営業していきたいと思えます。

質疑の中での主な提案

- 若い生産者の特設売場の設置検討を
- インターネット販売の促進を
- 出品者の配送のサポートを
- 農産物の知識について職員向けの研修を
- 生産者や高校生にメニューを考案してもらっては



広告宣伝、販売促進の取組みは

菅澤博隆議員 広告宣伝費、販売促進費について詳細は、岡野支配人 広告宣伝費については、ワッフルなど新メニューを開発したことにより、メディア等に広告を出した費用となります。販売促進費については、SNS等を利用して情報提供を開始したことによる費用となります。

カフェメニューの利用拡大に向けて

菅澤 環議員 ランチメニューとカフェメニュー同時に販売することはできないのか。

並木社長 現在、レストランは通常66席あるうち3分の1の22席に絞り、ランチメニュー、テイクアウトメニューをやっております。その中にカフェメニューも一緒に召し上がっていただけるように進めております。

農業委員会委員の任命12件に同意

任期満了に伴う、農業委員会委員について12名の任命に同意しました。(任期は7月20日から3年)

※農業委員会：農地法に基づき、権利移動・転用等の審議、違反転用・遊休農地への対策等、農地に関する事務を執行する行政委員会として市町村に設置されています。委員については議会の同意を得て町長が任命します。



町の農地、農業を守る役割

農業委員会委員



飯田 耕一氏・67歳 (南並木)



伊橋 勝美氏・72歳 (十余三)



宇井 伸征氏・42歳 (島)



大木 茂秀氏・70歳 (寺作)



大谷 房子氏・54歳 (喜多)



加賀原 裕江氏・49歳 (多古)



加瀬 政美氏・64歳 (牛尾)



齊藤 直行氏・52歳 (東松崎)



椎名 豊氏・66歳 (飯笹)



菅澤 重夫氏・66歳 (高津原)



瀬利 隆氏・68歳 (林)



八木 伸之氏・61歳 (南玉造)